

目次

# 日本の秘史を巡る旅

— 宇宙維新への扉は日本人が開く —

はじめに

宇宙に和する生き方とは

3

## 第一章 巨石信仰文明の謎

25

磐座いわくらからの啓発

27

古代の巨石信仰文明

32

ケルト、シュメールと日本

38

福田和宏さんに捧ぐ

40

## 第二章 青森の華麗なる古代文化圏

43

三にまつわる宿縁

45

第三章

古史古伝で語られる太古の日本

黒又山くろまたやまピラミッド

49

黒又山と彦島

54

八戸での講演と是川これかわ縄文館

62

青森の縄文文明

66

大陸と日本を結ぶ青森

69

第一部 ホツマツタエ、カタカムナが伝える「宇宙創成」と「宇宙の心」

75

ホツマツタエが説く宇宙と人類の進化

75

第二部 榎原かしはら神宮、高千穂たかちほ神社、六甲ろっこうを巡る旅

88

ホツマツタエが伝える生ける神々の物語

ホツマツタエが伝える国造り神話

88

# 第四章 義経は北へ、そして大陸へ

## 第一部 義経北行伝説

おみか  
龍神社参拝

義経は衣川では死んでいない

118 115

115

113

- クニトコタチからニニキネへ…………… 90
- ホオデミからカンヤマトイハレヒコの東征物語へ…………… 92
- 激甚災害を潜り抜けて檀原神宮へ…………… 96
- 神々に見守られた高千穂への旅…………… 98
- 盛況の講演会と夜神楽…………… 101
- 「ワカヒメ」、「セオリツヒメ」を巡る六甲の旅…………… 103
- ホツマツタエの編纂…………… 107

コラム  
常識を疑う

111

東日流外三郡誌における荒羽吐族

この世の浄土 平泉

義経自刃について

小田八幡宮に残される経典

水戸光圀公の疑念

腰越での首実検

義経、十三湊から三厩、そして蝦夷へ

義経北行の成功を支えた要因

北海道における足取り

江差への上陸

大陸での始動

## 第二部　そして義経はチンギス・ハンになった

シーボルトも追いかけた義経伝説

チンギス・ハンの前半生

チンギス・ハンの即位

121

123

127

133

134

136

139

141

144

146

148

150

150

160

162

テムジンからチンギス・ハンへ

モンゴル文字の制定

元寇異説

元と清

清の建国

なすよしもがな

静御前の遺児

チンギス・ハンの最期

老爺廟にある六基の墓

コラム 天城山心中事件と義経伝説

## 第五章 千里眼事件と千島学説

～飛騨高山が生んだ二人の哲人の物語～

第一部 福来博士による千里眼実験

166

169

171

174

175

177

180

181

183

190

193

195

高山市での講演と国常立大神	195
福来博士による超能力実験	196
位山登拝	201
蒲池龍之助さんに捧ぐ	202

コラム

私的千里眼事件	203
---------	-----

第二部 千島学説が予見していた最新の幹細胞研究 210

千島・森下学説とは	210
千島学説とセントラル・ドグマ	212
細胞増殖は、細胞分裂によってのみ起こるのか？	215
千島博士による五大原理	217
脾臓の再生現象とモネラ	220
脾組織内で起きたAFD現象	223
カラー図版 (実験写真) 図1・2・3・4・5・6	225
脾組織内に現れた細胞はどこから？	230

移植された脾組織の経時的变化	233
プリオン学説とモネラ	235
ウイルヒョウとその時代	239
生氣論と機械論	241
レペシンスカヤの登場	242
生氣論と自然淘汰説	245
オパーリンによる生命自然発生説	247
バクテリア自然発生説	250
腸造血説	253
骨髓造血と造血幹細胞	256
遙かなる幹細胞の姿	257
モノクローナル抗体による造血幹細胞の同定	258
ついに捉えた造血幹細胞の姿とは	260
細胞可塑性が千鳥学説を呼び覚ます	263
ES細胞からiPS細胞へ	266
STAP細胞の登場	267



理研を襲った大ブーメラン	270
細胞可塑性と血球可逆説	273
高久史麿博士に捧ぐ	275
科学研究の宿命	277

第三部 千島・森下博士による現代医療への警告

エントロピー増大の法則	283
食事の3S主義	284
クロロフィルとヘモグロビン	286
ケルブランの原子転換説	287
節食と断食	290
がんと食事	294
がんは食事で治す	296
エドガー・ケイシーのがん予防法	300

コラム すべては宇宙の采配

第六章 大戦後の日本に何が起こったのか? ..... 311

アジア独立の陰で ..... 313

そして戦後が始まった ..... 320

一大事件をつなぐもの ..... 324

JAL一二三便事故の後に何が起こったのか ..... 327

第七章 宇宙維新 この星は光と闇の統合へと向かう ..... 333

UFO情報開示の流れは止まらない ..... 335

宇宙維新と明治維新 ..... 339

二元から一元へ ..... 342

善と悪 ..... 344

迫りくる経済の大変動に備える

346

岩戸開き

353

おわりに

357

未来に向かって

参考文献